

# 3号機 モバイル式処理装置からの漏えいについて

平成26年3月27日

東京電力株式会社



1

## 3号機モバイル式処理装置からの漏えいについて

### ■事象概要

平成26年3月25日10時20分、運転中の3号機モバイル式処理設備において、漏えい検知器警報が鳴動

10時42分、当社社員が現場を確認したところ、3号機モバイル式処理装置の吸着塔ユニットの堰内に漏えい水溜まっている状態、及び装置が停止し、漏えいが止まっている状態を確認した。

なお、漏えいした水は堰内に留まっており、系外への漏えいは確認されていない。

<事象発生日時>平成26年3月24日 10時20分

<発生場所>3号機モバイル式処理装置 吸着塔ユニット内

<サンプリング結果>  $^{134}\text{Cs}$  :  $1.2 \times 10^0 \text{Bq/cc}$ 、 $^{137}\text{Cs}$  :  $3.5 \times 10^0 \text{Bq/cc}$

全 $\beta$  :  $7.3 \times 10^3 \text{Bq/cc}$

<時系列>

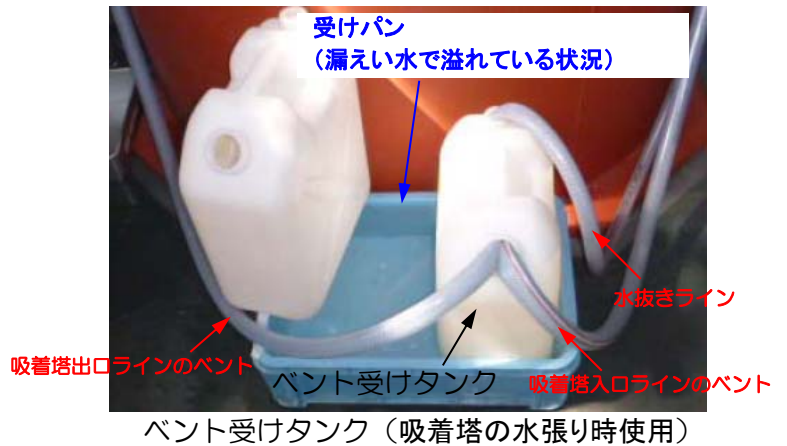
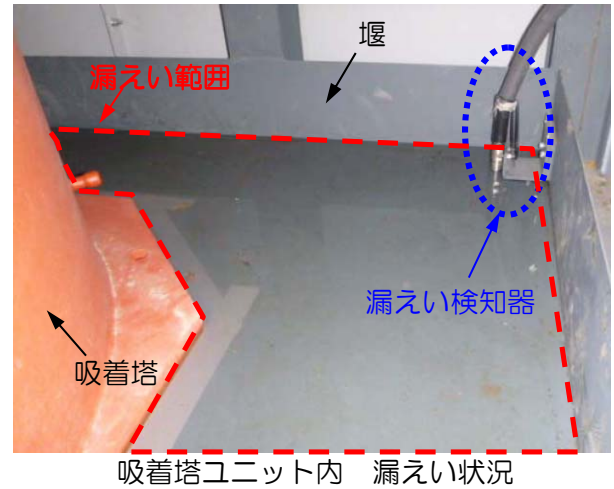
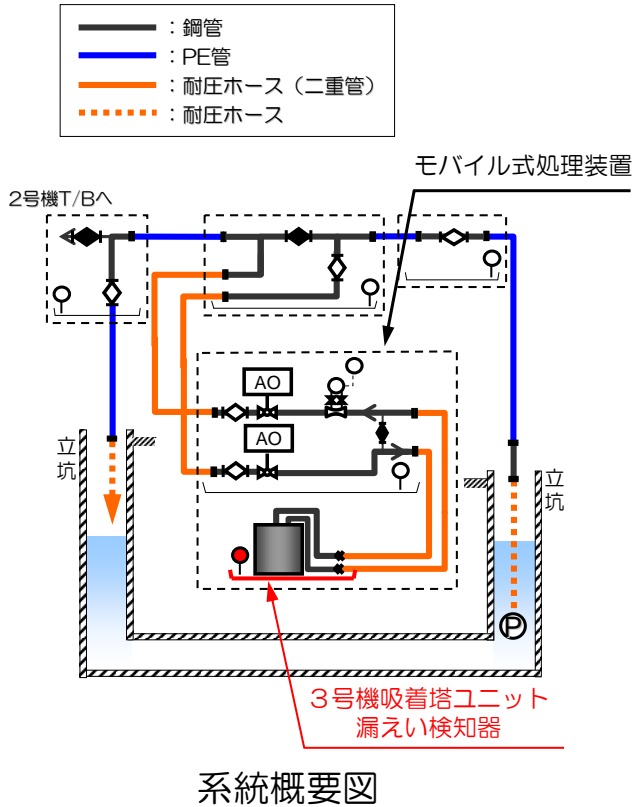
- ・ 10:20 3号機漏えい検知器警報「吸着塔ユニット漏えい」動作
- ・ 10:42 現場を確認し、漏えいの停止を確認



2

# 3号機モバイル式処理装置からの漏えいについて

## ■漏えい状況



# 3号機モバイル式処理装置からの漏えいについて

## ■対応状況・推定原因

- ・ 吸着塔ユニット堰内の漏えい水を回収 (約50L)。
- ・ 弁 (F571~F573) の開閉状況を確認し、目視で閉であることを確認。
- ・ 吸着塔内をろ過水で置換すると共に、漏えいの有無について確認したところ、F572からのシートリークを確認。
- ・ その際、当該弁が閉位置であることを操作確認したが、漏えいが継続。
- ・ その後、当該弁の開閉操作を実施したところ、シートリークが停止した。
- ・ 以上から3/24の吸着塔交換に伴う水張り操作により、当該ベント弁にゴミかみ等に起因する微小漏えいが発生・継続したため、堰内に漏えいが溜まったものと推定。

## ■今後の対応

### ＜当該の吸着塔に対する対応＞

- ・ 現状、シートリークはおこしていないと考えられるが、念のため、監視強化として再起動後、1時間後及び3時間毎※に、ベント弁から漏えいがないことを確認する。  
 ※起動後、1日程度

### ＜再発防止策＞

- ・ 吸着塔交換等※に際しては、吸着塔水張り操作のため、ベント弁の開閉操作が発生することから、装置起動後、約1時間後に、ベント弁からの漏えいがないことを確認する。  
 ※長期停止時に、ろ過水による水置換・水抜きを行う場合には、ベント弁の開閉操作が発生するため同様の確認を行う。

